

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 8 月 26 日

審査機関名 社団法人 日本能率協会

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	株式会社西村木材店多気工場における国産材木質バイオマス利用ボイラーへの更新による CO2 削減事業
承認番号	JCDM-PJ0116
排出削減事業者名	株式会社西村木材店
排出削減共同実施事業者名	三井物産株式会社
事業実施場所	株式会社 西村木材店 多気工場 (三重県多気郡多気町河田字東谷 1 3 4 3 - 1)
事業の概要	既設の灯油焚き貫流式ボイラー (10 基) を木質バイオマスボイラー (1 基) に更新することにより、ボイラー燃料である灯油の使用を削減すると共に、木質バイオマスを燃料として利用することで CO2 の排出を削減する。
排出削減量の計画	2009 年度 : 2,522 tCO2/年 2010 年度 : 4,036 tCO2/年 2011 年度 : 4,708 tCO2/年 2012 年度 : 5,381 tCO2/年 (事業実施期間合計 16,647CO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 7 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2009 年 7 月 1 日～2010 年 6 月 30 日 (第 1 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,402 tCO <sub>2</sub> (2009年7月1日～2010年6月30日)
-------	---

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていることを確認した。 1) プロジェクト開始日 プロジェクト開始日が承認排出削減事業計画通りであることをバイオマスボイラーの運転記録により確認した。 2) 対象期間中の設備稼働 承認排出削減事業計画に従い、バイオマスボイラーが導入されていること、及び、本実績報告期間において導入設備であるバイオマスボイラーが稼働していることを、実績報告期間中のボイラー運転記録により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法 現地訪問時にバイオマスボイラーの運転記録、及び、当該測定機器を確認した。承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画に従い、ボイラーの生成熱量の算定のために必要なデータのモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 バイオマスボイラーの運転記録、及び、ベースライン算定のためのエクセルシートを確認し、承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量等が報告期間中にわたり適切に把握され、正確に集計、適切に保存されていることを確認した。

要件	実績確認手続き
	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合し、方法論の定めた計算式との照合を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他、承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2008 年 11 月 1 日から 2010 年 6 月 30 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

該当なし

#### 6. 特記事項

特になし

以上